

先進的あるいは特色ある教育課程	学校名等	課程
「英語の4技能習得」	茨城県立竹園高等学校	全日制普通科

ア 実施状況について

① 教育課程

(教育課程編成)

- ・本校は開校39年目の高等学校である。各学年8クラス，計24クラス（1学年：普通・国際科，2学年及び3学年：普通科6クラス及び国際科 理系・文系 各1クラス 計2クラス）の全日制の学校である。
- ・平成15年度に茨城県教育委員会による「イングリッシュ・シャワー・プログラム（ESP）」実施校の指定（3年間）を受け、「英語が使える高校生の育成」を目指した英語教育の充実と研究開発に取り組んだ。平成18年度以降は，特色ある学校づくり支援事業を活用し，ESPの継続発展を目指して学校独自のACE（Approach to Communicative English）プログラムを実施し現在に至っている。ESPは国際科を中心とした取組であったが，ACEプログラムは，国際科，普通科を含めた学校全体の取組となっている。

(授業展開)

- ・英語コミュニケーション能力育成のために，ペアワーク，グループワーク等を取り入れ，コミュニケーション型の授業を展開している。
- ・生徒同士の「学び合い」や「気づき」を促し，「深い学び」につながる学習者主体の授業に努めている。
- ・学年毎に共有のハンドアウトやパワーポイントを使用して授業を行っている。
- ・学年別プロジェクト(平成28年度実施実績)
 - 第1学年：プレゼンテーション(グループ活動)，多読活動
 - 第2学年：ディベート
 - 第3学年：ディスカッション(普通科)，模擬国連(国際科)，エッセイライティング(共通)

② 教員の指導力向上

- ・「イングリッシュ・シャワー・プログラム（ESP）」(平成15年)スタート時から現在まで，立教大学経営学部国際経営学科教授 松本茂先生にアドバイザーを委託している。

③ 校内組織

- ・ACEプログラムを英語科で実践している。
- ・国際科や企画研究開発部と連携して，JICA 筑波研修員との異文化交流会や「探Q活動」（課題研究）の中間発表のプレゼンテーション(国際科2年生のシンガポールでのスタディーツアー)などを実施している。

④ 施設設備

- ・全ての普通教室に，プロジェクターと音響設備があり，音声，映像を取り入れた学習が常に可能な環境にある。

⑤ 取組の成果の（都道府県）全体への普及・共有方法

- ・文化祭で，校内英語スピーチコンテスト及び英語部2年生と3年生による公開ディベートを一般公開している。
- ・本校アドバイザーである松本茂先生を招き，「ACEプログラム講演会」（4月），「ACE公開授業及び研究協議会」（12月）を実施する際には，広く県内の中学校・高等学校英語教育関係者の参加をいただいている。
- ・英語部の生徒がつくば市立柳橋小学校を訪問し，「小学校出前授業」を実施した(昨年度，一昨年度と2回実施)。

イ 今後の課題

- ・原則として，オールイングリッシュの授業を行っているが，発話量，文法，訳読等の重み付けについて学年間で差がある。
- ・卒業時における具体的な最終目標，学年目標，Learning Outcomes，Can-do等を正確に共有するために，英語科内での話し合いをより深化させることが求められる。